PHONAK

デジタル　耳あな型補聴器　**耳あな型ウナ**

Una CIC/MC
Una ITC/HS, ITC/HS AZ
Una FS, FS AZ
Una FS Power

取扱説明書

■はじめに

この度はフォナック社の補聴器をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
また、この取扱説明書は保証書と一緒に大切に保管してください。

■安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するため、必ずお守り頂くことを下記のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を次ように区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示がある項目は、「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示がある項目は、「損害を負う可能性、または物的損傷のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容を次のように表示し、説明しています。

⃠ 禁止	この表示がある項目はしてはいけない「禁止」の内容です。

■ご使用にあたって

禁止

- 音量を大きくしすぎないで下さい。
- 騒がしいところでは音量を小さめにするか、長時間使用しないようにしてください。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないようにしてください。
- 補聴器は医療機器ですので、分解や改造はしないでください。
- レントゲン撮影、CTスキャン等の画像診断機器は補聴器に悪影響を及ぼします。これらの機器を用いた撮影を受ける前には補聴器を外し、撮影室の外に置くことをお勧めします。
  またMRIスキャンは強い磁力を用いますので、MRI室に入る前には必ずお外し下さい。
- 過度の湿気や温度を避けて下さい。特に夏の時期、窓や車のフロントガラスの近くには置かないようにしてください。

・補聴器の内部に水が入ると故障する恐れがありますので、水にぬらさないで下さい。
（例：お風呂に入るときなど）
・電池は火中に投げ入れないでください。

⚠警告

ペットのそばや子どもの手の届くところに保管しないで下さい。万が一、誤って電池を飲み込んでしまった場合、ただちに医師にご相談ください。

⚠注意

- 指向性マイクロホンを搭載した機種は、主に背後から来る音を抑えます。そのため、装用者の背後に近づく車の音や背後で鳴るクラクション（警告音）が聞こえにくいことがあります。
- 補聴器を使用しない場合は電池を取り出してください。そして湿気を取り除くために電池ホルダーを開けたままの状態で乾燥ケースの中に保管してください。
- ご使用になるまでは電池のシールをはがさないでください。ご使用の際にシールをはがし、30秒ほどお待ちになってからご使用ください。
- 使用済みの電池は、各自治体指定の方法により処分をしてください。
- 不要になった補聴器は、各自治体指定の方法により処分をしてください。
- 汗、湿気、皮脂、耳垢、整髪料などが補聴器内部に入ると故障する恐れがありますので、ご使用後はお手入れ（12ページ）を行ってください。

■ご使用になる前に

- 補聴器は聞こえを元にもどすものではなく、聴力を補う機器です。
- 使い始めは音量を小さめにして、慣れてきたら徐々に音量を調整してお使いください。
- 補聴器はお客さま専用に調整されていますので、他の人に貸したり、他の人の補聴器を装用しないでください。正しく調整されていない補聴器は効果がないばかりか、場合によっては耳を傷めたりする恐れがあります。
- 耳を治療中の方、治療をしたことがある方は主治医にご相談ください。
- 聴力の変化に伴い、補聴器の再調整が必要になる場合がございます。聴力測定を年に一度はお受けになることをお勧めします。

⚠注意

下記の項目に該当する場合は、補聴器を使用する前に耳鼻咽喉科医にご相談ください。

- 耳の治療中の方、耳の中や耳の後の痛みまたは炎症がある場合
- 過去90日以内に耳だれがあった場合
- 過去90日以内に突発性または進行性の聴力低下があった場合
- 過去90日以内に左右どちらかの耳に聴力低下があった場合
- 急性または慢性のめまいがある方

下記の項目に該当する場合は、補聴器の使用をすぐに中止し、耳鼻咽喉科医または販売店へご相談ください。

- 耳の皮膚が赤くなったり、かゆみ・湿疹等が出た場合
- 耳だれが出てきた場合
- 耳の治療が必要になった場合
- 耳の聞こえが急に悪くなったと思える場合

■目次

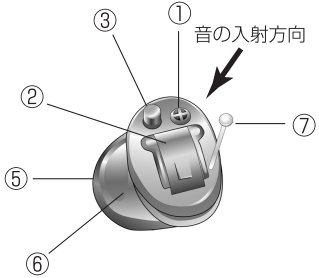
各部の名称…… 1〜2
電池の交換方法…… 3〜4
補聴器の使い方
　電源の入れ方／切り方…… 5
　補聴器の装用方法…… 6〜7
　音量の調節方法（オプション）…… 8
　プログラムの切り替え方法…… 9
プログラム設定表…… 10
イージーフォン（別売）…… 11
ご使用後のお手入れ方法…… 12
補聴器の保管について…… 13
初めてお使いになる方に…… 14
故障かと思われたときは…… 15

仕様・性能…… 16〜21
アフターサービス…… 22

■各部の名称

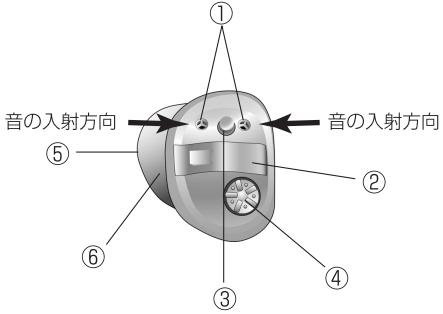
ウナ CIC

電池サイズ：PR536（10A）



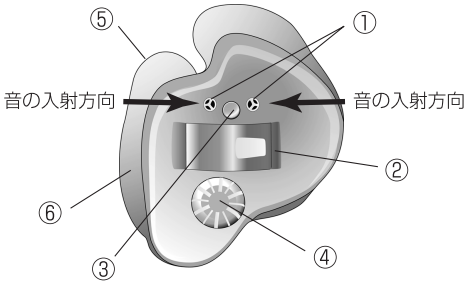
ウナ ITC/ITC AZ

電池サイズ：PR41（312）



ウナ FS, FS AZ, FS パワー

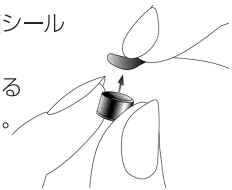
電池サイズ：PR48（13）



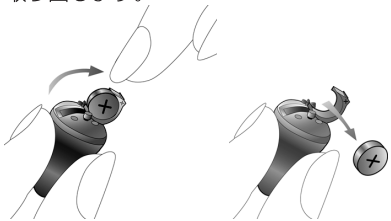
①マイクロホンの音口（指向性タイプにはマイクロホンが2つ）（音の入口）
②電池ホルダー（電源の入/切機能付）
③プログラムスイッチ（オプション）
④ボリュームコントロール（オプション）
⑤レシーバ（音の出口）
⑥オーダーメイドシェル
⑦取り出しテグス

■電池の交換方法

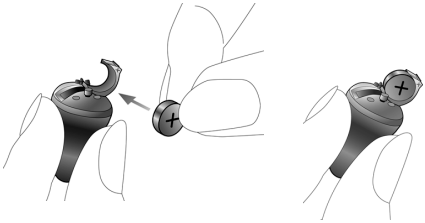
1．新しい電池の保護シールをはがします。
シールが貼ってある側が（＋）面です。



2．電池ホルダーを開け、使用済みの電池を取り出します。



3．新しい電池を入れます。電池の（＋）面と電池ホルダーの＋マークが同じ方向になるようにあわせます。



4．カチッと閉まるまで、電池ホルダーを
ゆっくり押します。

⚠注意事項

・電池ホルダーは丁寧に扱い、無理な力を加えないでください。

・電池ホルダーがうまく閉まらない場合には、電池が正しく収納されているか確認してください。電池がプラスマイナス逆向きに収納されている場合、きちんと閉まりません。

電池寿命お知らせ音
電池がなくなりかけると、お知らせ音（ピー、ピー）が鳴りますので,電池を新しいものに交換してください。（電池がなくなる約30分前に鳴りますが、電池の状態によって異なります。）

■補聴器の使い方

電源を入れる方法：電池ホルダーを閉める

電源を切る方法：電池ホルダーを開ける

ポイント

電源を入れると、補聴器はあらかじめ調節された音量とプログラムに自動的に設定されます。

注　意

スタートアップの遅延が設定されている場合、電源を入れると一瞬だけ音が出た後、9秒または15秒間は音が聞こえなくなります。

補聴器を耳に装用する方法

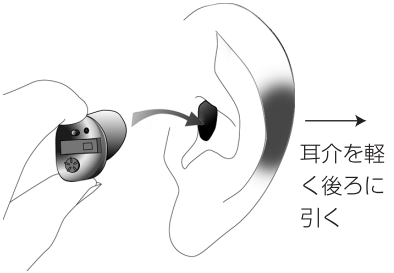
装用の前に

左耳用・右耳用がございますので左右をご確認ください。

左耳用：青色

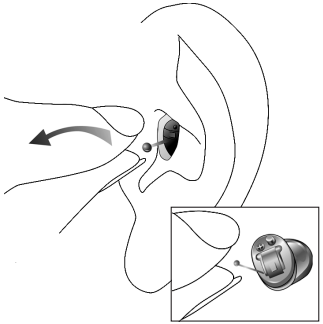
右耳用：赤色

1．補聴器本体を図のように持ち、耳穴の後ろの耳介部分を軽く後ろに引きながらゆっくり入れます。入りにくい場合は、販売店にご相談ください。

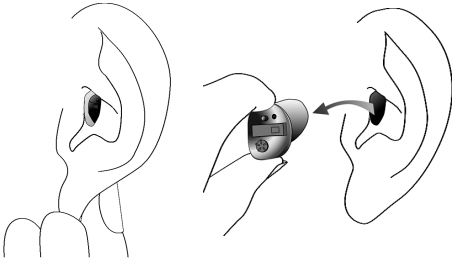


補聴器を耳から外す方法：

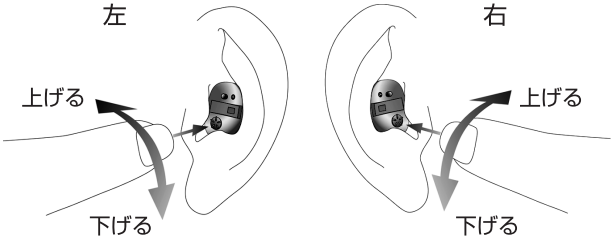
テグス付の場合：
テグスを持ってゆっくり取り出します。



テグスがない場合：
耳たぶを図のように持ち、耳たぶの後から親指で補聴器を押し上げます。少し出たら、補聴器をつかんでゆっくり取り出します。



音量の調節方法（オプション）

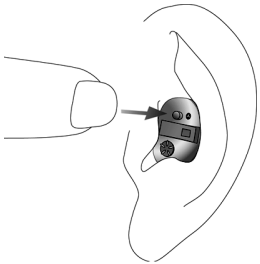


音量を上げるには：ボリュームコントロールを前の方に回転させます。
音量を下げるには：ボリュームコントロールを後の方に回転させます。

最適な音量になると低いビープ音（ポッ）が1回鳴ります。

プログラムの切り替え方法

プログラムスイッチを押すたびにプログラムが切り替わります。
プログラム設定している場合、手動で切り替えることが可能です。



注　意

プログラムスイッチの位置はお客様によって異なる場合がございます。

プログラム設定表

プログラム	設　定　内　容	確認音※※
プログラム1		“ピッ”（･）
プログラム2		“ピピッ”（･･）
プログラム3		“ピポポッ”（.･･）
プログラム4		“ピポッ”（.･）
イージーフォン		“ピポ”（.･）
ミュート※		確認音なし

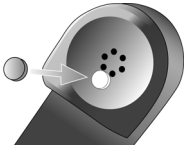
※ミュート（無音）を選択している場合、音は聞こえませんが、電池は消耗しています。
※※確認音は消すことも可能です（プログラム1～4のみ）。

イージーフォン（別売）

イージーフォンは、受話器を耳にあてると自動的に電話プログラムを選択する機能です。
切り替わる時、お知らせ音（ピポ）が鳴ります。
受話器を耳から離すと、元のプログラムに自動的に戻ります。

イージーフォン用の磁石を取り付ける方法

受話器をきれいにし、図のような位置に専用の磁石を付属の両面テープで貼ります。



注　意

磁石で受話器の音が出る部分を覆わないようにしてください。受話器を近づけても切り替わらない場合は、磁石の位置を変更してください。

■ご使用後のお手入れ方法

補聴器を長くお使いいただくために、日ごろからのお手入れをお勧めします。

1．補聴器本体から電池を取り出します。

2．ティッシュペーパーや柔らかい布で、補聴器本体と電池についた汗や汚れを拭き取ります。

3．耳垢が音口部にたまると故障の原因となることがあります。付属のブラシで音口部を下に向けて掃除してください。

注　意

補聴器をお手入れする際に、家庭用洗剤（石鹸、洗剤粉等）は絶対にご使用にならないでください。

補聴器の保管について

（乾燥ケースを使用される場合）
電池ホルダーを開けたまま補聴器を乾燥ケース
に入れて下さい。

注　意

補聴器から必ず電池を取り出してください。
補聴器から取り出した電池は乾燥ケースにいれ
ないようにしてください。

■初めてお使いになる方に

第一段階

初めは静かな家の中等で使用し、補聴器をつけることに慣れて下さい。最初は自分の声に違和感がありますが、本などを声に出して読んだりして違和感がなくなるまで練習します。練習は10分ほどから始めて徐々に長くしますが、疲れたらすぐ休んでください。

第二段階

静かな部屋で、身近な人と一対一で話す練習をしましょう。

第三段階

複数の身近な人と話をする練習をします。どの人が話をしているか聞き分けてみましょう。

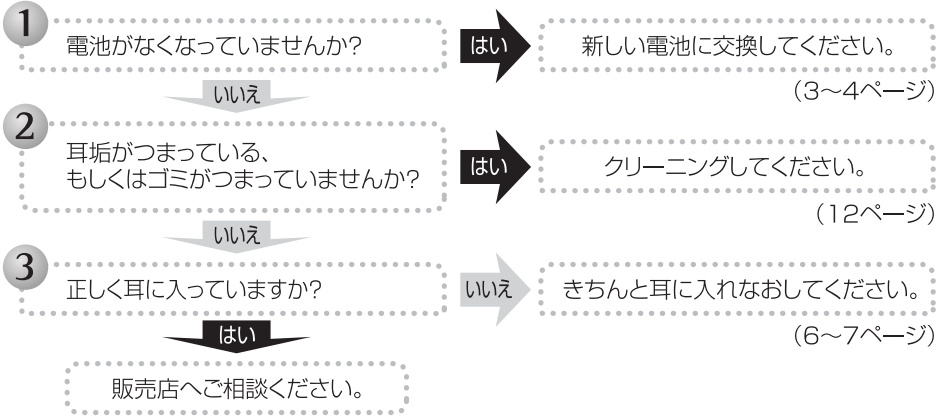
第四段階

慣れてきたら、外で聞く練習をします。

注意：補聴器の音が小さかったり、周囲の音が大きく感じたら販売店にご相談ください。補聴器の再調整が必要となります。

■故障かと思われたときは

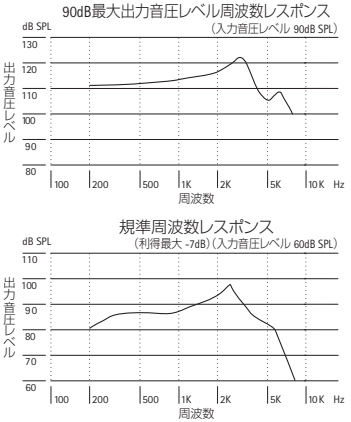
補聴器が聞こえづらくなったときは、まず下記のようにお調べください。



■仕様・性能（ウナ CIC/MC）

*本データは JIS C 5512:2000 の密閉形擬似耳により測定・表示してあります。

適応聴力範囲：	軽度～中等度
規準周波数：	1600 Hz
最大音響利得：	36 dB ±5 dB
90dB 最大出力音圧レベル：	115 dB ±5 dB（1600Hz）
	130 dB SPL 以下（ピーク値）
等価入力雑音レベル：	35 dB SPL 以下
全高調波ひずみ：	500 Hz 4.0% 以下
	800 Hz 3.0% 以下
	1600 Hz 3.0% 以下
電池の電流：	1.00 mA 以下
使用電池：	PR536（10A）
電池寿命：	75～100時間
	（リモコン使用設定の場合：約60時間）



*本取扱説明書に掲載された電池寿命の値は標準的設定における目安であり、補聴器の設定やご使用の状況によって異なります。

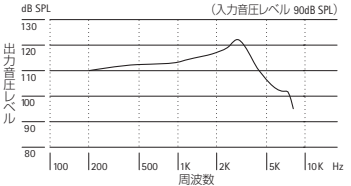
■仕様・性能（ウナ ITC/HS）

*本データは JIS C 5512:2000 の密閉形擬似耳により測定・表示してあります。

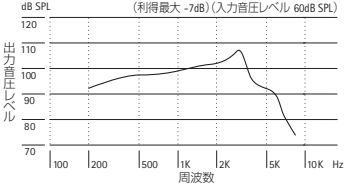
適応聴力範囲	軽度～中等度
規準周波数	1600 Hz
最大音響利得	48 dB ±5 dB
90dB 最大出力音圧レベル	115 dB ±5 dB（1600Hz）
	130 dB SPL 以下（ピーク値）
等価入力雑音レベル	35 dB SPL 以下
全高調波ひずみ	500 Hz 4.0% 以下
	800 Hz 3.0% 以下
	1600 Hz 3.0% 以下
電池の電流	1.30 mA 以下
使用電池	PR41（312）
電池寿命	100～145時間
誘導コイルの感度	80 dB SPL ±6 dB
	（磁界の強さ 1 mA/m ループに対して垂直の時最大）
	*誘導コイルは規準値で測定

*本取扱説明書に掲載された電池寿命の値は標準的設定における目安であり、補聴器の設定やご使用の状況によって異なります。

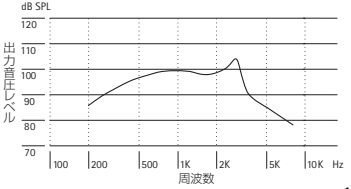
90dB最大出力音圧レベル周波数レスポンス
（入力音圧レベル 90dB SPL）



規準周波数レスポンス
（利得最大 -7dB）（入力音圧レベル 60dB SPL）



誘導コイル入力周波数レスポンス



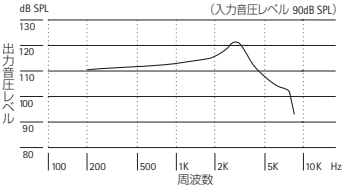
■仕様･性能（ウナ ITC/HS AZ）

*本データは JIS C 5512:2000 の密閉形擬似耳により測定･表示してあります。

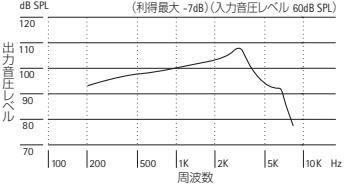
適応聴力範囲：	軽度～中等度
規準周波数：	1600 Hz
最大音響利得：	48 dB ±5 dB
90dB 最大出力音圧レベル：	115 dB ±5 dB（1600Hz）
	130 dB SPL 以下（ピーク値）
等価入力雑音レベル：	30 dB SPL 以下
全高調波ひずみ：	500 Hz 4.0% 以下
	800 Hz 3.0% 以下
	1600 Hz 3.0% 以下
電池の電流：	1.30 mA 以下
使用電池：	PR41（312）
電池寿命：	100～145時間
誘導コイルの感度：	80 dB SPL ±6 dB
	（磁界の強さ 1 mA/m ループに対して垂直の時最大）
	*誘導コイルは規準値で測定

*本取扱説明書に掲載された電池寿命の値は標準的設定における目安であり、補聴器の設定やご使用の状況によって異なります。

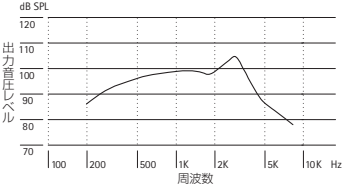
90dB最大出力音圧レベル周波数レスポンス
（入力音圧レベル 90dB SPL）



規準周波数レスポンス
（利得最大 -7dB）（入力音圧レベル 60dB SPL）



誘導コイル入力周波数レスポンス



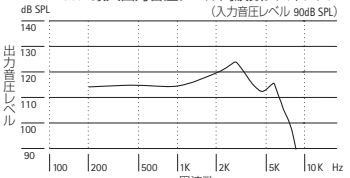
■仕様･性能（ウナ FS）

*本データは JIS C 5512:2000 の密閉形擬似耳により測定･表示してあります。

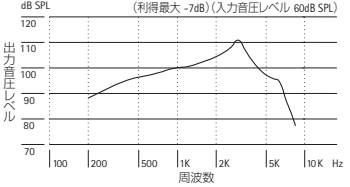
適応聴力範囲	中等度
規準周波数	1600 Hz
最大音響利得	50 dB ±5 dB
90dB 最大出力音圧レベル	118 dB ±5 dB（1600Hz）
	133 dB SPL 以下（ピーク値）
等価入力雑音レベル	30 dB SPL 以下
全高調波ひずみ	500 Hz 4.0% 以下
	800 Hz 3.0% 以下
	1600 Hz 3.0% 以下
電池の電流	1.30 mA 以下
使用電池	PR48（13）
電池寿命	155～240時間
誘導コイルの感度	85 dB SPL ±6 dB
	（磁界の強さ 1 mA/m ループに対して垂直の時最大）
	*誘導コイルは規準値で測定

*本取扱説明書に掲載された電池寿命の値は標準的設定における目安であり、補聴器の設定やご使用の状況によって異なります。

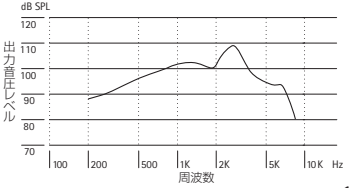
90dB最大出力音圧レベル周波数レスポンス
（入力音圧レベル 90dB SPL）



規準周波数レスポンス
（利得最大 -7dB）（入力音圧レベル 60dB SPL）



誘導コイル入力周波数レスポンス



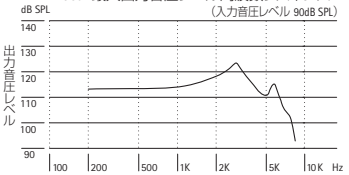
■仕様・性能（ウナ FS AZ）

*本データは JIS C 5512:2000 の密閉形擬似耳により測定・表示してあります。

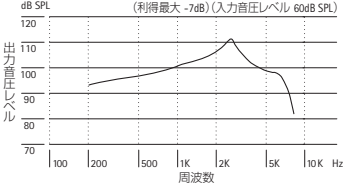
適応聴力範囲：	中等度
規準周波数：	1600 Hz
最大音響利得：	50 dB ±5 dB
90dB 最大出力音圧レベル：	118 dB ±5 dB（1600Hz）
	133 dB SPL 以下（ピーク値）
等価入力雑音レベル：	30 dB SPL 以下
全高調波ひずみ：	500 Hz 4.0% 以下
	800 Hz 3.0% 以下
	1600 Hz 3.0% 以下
電池の電流：	1.30 mA 以下
使用電池：	PR48（13）
電池寿命：	155〜240時間
誘導コイルの感度：	85 dB SPL ±6 dB
	（磁界の強さ 1 mA/m ループに対して垂直の時最大）
	*誘導コイルは規準値で測定

*本取扱説明書に掲載された電池寿命の値は標準的設定における目安であり、補聴器の設定やご使用の状況によって異なります。

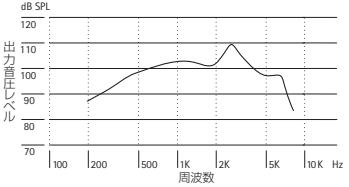
90dB最大出力音圧レベル周波数レスポンス
（入力音圧レベル 90dB SPL）



規準周波数レスポンス
（利得最大 -7dB）（入力音圧レベル 60dB SPL）



誘導コイル入力周波数レスポンス



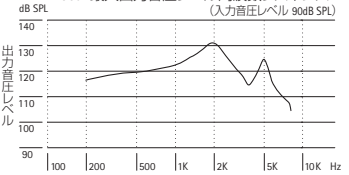
■仕様･性能（ウナ FS パワー）

*本データは JIS C 5512:2000 の密閉形擬似耳により測定･表示してあります。

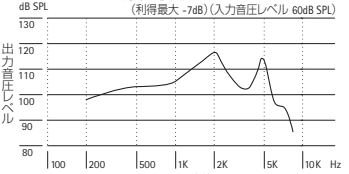
適応聴力範囲：	高度～重度
規準周波数：	1600 Hz
最大音響利得：	59 dB ±5 dB
90dB 最大出力音圧レベル：	129 dB ±5 dB（1600Hz）
	141 dB SPL 以下（ピーク値）
等価入力雑音レベル：	30 dB SPL 以下
全高調波ひずみ：	500 Hz 4.0% 以下
	800 Hz 3.0% 以下
	1600 Hz 3.0% 以下
電池の電流：	1.30 mA 以下
使用電池：	PR48（13）
電池寿命：	155～240時間
誘導コイルの感度：	90 dB SPL ±6 dB
	（磁界の強さ 1 mA/m ループに対して垂直の時最大）
	*誘導コイルは規準値で測定

*本取扱説明書に掲載された電池寿命の値は標準的設定における目安であり、補聴器の設定やご使用の状況によって異なります。

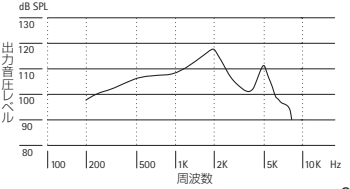
90dB最大出力音圧レベル周波数レスポンス
（入力音圧レベル 90dB SPL）



規準周波数レスポンス
（利得最大 -7dB）（入力音圧レベル 60dB SPL）



誘導コイル入力周波数レスポンス



■アフターサービス

1. 保証書（別途添付）
   必ず「販売店名」、「お買い上げ日」、などの記載をお確めになり、大切に保管してください。

2. 修理について
   保証書を一緒に販売店へお持ちください。保証書に記載された内容に応じて修理いたします。

3. その他
   アフターサービスなどについてのご不明な点は、お求めの販売店までお問い合わせください。

この取扱説明書の内容は 2010 年 7 月現在のものです。各製品の仕様は予告なく変更される場合がございます。

メモ

メモ

メモ

販売店名

製造販売業
フォナック・ジャパン株式会社

〒141-0031
東京都品川区西五反田 5-2-4 レキシントン・プラザ西五反田
TEL 0120-06-4079（お客様相談窓口） FAX 0120-23-4080
www.phonak.jp

許可番号 13B2X10021 認証番号 219AABZX00230000

029-0036-17/0710/Printed in Japan © Phonak AG All rights reserved